

半田高校 第1期計画と第2期計画との関係

第1期SSH(H25~H29)実施

国際社会で活躍できる自然科学系グローバル人材の育成に関する研究

SSH学校設定科目の実施

成果: 発展的な内容, 教科横断的な内容, アクティブ・ラーニングを取り入れた言語活動の充実, 思考力・判断力・表現力の向上

★SSH数学Ⅰ, SSH英語Ⅰ, SSH自然探究Ⅰ, SSH公民等において思考力, 判断力, 表現力が向上

自然科学系人材の発掘

成果: 第1~第3学年にわたる探究活動のプログラムを通じて探究活動に必要な諸能力が向上, 専門家による講演を通じて国際的な自然科学系人材に必要な諸能力の向上, 国内外の各種科学コンテストへの積極的参加, 高いレベルの科学技術的能力を育成

★サイエンスコミュニケーションにおいて肯定的に回答した生徒の割合 4年次(対1年次比較) 科学的考察力向上 **88%**(+20%) 国際的視野の広がり **79%**(+33%) 自分の意見の表現力 **46%**(+7%)

★SSH生徒研究発表会

奨励賞(H27)・生徒投票賞(H29)

★MIRAI GSC **3名が最終ステージ進出**(H29)

★あいち科学の甲子園 **グランプリステージ出場**(H29)

★AITサイエンス大賞 **努力賞**(H29)

★青年科学技術会議(タイ) **参加賞**(H28)

★生物学オリンピック **本選出場**(H29)

★数学甲子園 **本選出場**(H25)

★東海フェスタ **奨励賞**(H28,29)

★TISF(タイ)への参加(H28)

★JSSF(立命館)への参加(H28,29)

地域の高校や県内の大学との連携

成果: SSH自然科学部の研究や理科課題研究における助言や指導(愛知教育大学), 英語によるプレゼンテーション(日本福祉大学), サイエンスコミュニケーション(名古屋大学)等, 県内の大学や地域の高校と連携, 高度な知識技能, 創造的な能力の向上等

★知多地区高校生フォーラムでは議論の充実度が増加

★英語によるプレゼンテーション講座では大多数が英語力の向上, プレゼンテーション能力の向上を実感

知多の教育資産の活用による探究活動の能力の育成

成果: 第1学年, 総合的な学習の時間における「市町村探究」を通して, 第1学年から第3学年にかけて探究活動の流れを強固にすることで高度な思考力・判断力・表現力を向上

国際的な視野を広げる取組

成果: 学校設定科目において科学的な内容を含んだ教材を扱い, 英語で表現する機会を設け, 国際バカロレアの理念に基づいたクリティカルな視点を身につける取組を導入, 英語3技能の向上, 思考力・基礎的知識・創造力の向上

★Global Test of English Communication(GTEC)スコア平均 1学年比較 4年次(対3年次比較) Reading 195(+2) Listening 195(+5) Writing 118(+7)

もう一度
挑戦者(risk-takers)を
育てる視点から

第2期SSH(H30~H34)実施

挑戦する人<発見する人, 貢献する人, 開拓する人>
を育てる半田(Handa)Risk-Takers養成プロジェクト
“HaRT-project”

出る杭 発見・伸長 プラン

他者にはない独創的で新しい視点をもった才能を発見し伸長する。

・探究Ⅰ(FR)(『TOK』入門)

・探究Ⅱ(CR)・探究Ⅲ(IR)

・知多地区生徒探究発表会

・中学生サマーサイエンスセミナー

・サイエンスコミュニケーション

・大学生による教育実践演習

・SSH自然科学部, 数学部

・65分授業によるアクティブラーニングの充実



5つのstage
の利用

起業家魂 アントレプレ ナーシップ 育みプラン

失敗に負けない強い心で新たな分野・領域に立ち向かい社会貢献できる精神を鍛える。

・探究Ⅰ(FR)(知多からの挑戦史)

・知多地区生徒探究発表会

・アントレプレナーシップ講演会

・サイエンスコミュニケーション

・最先端大学見学会

・中学生サマーサイエンスセミナーの企画・運営

・各大会への出場



海外 進出 促進 プラン

海外の場でも物おじせず, 挑戦していくコミュニケーション力と積極性を引き出す。

・探究Ⅰ(FR)(『TOK』入門・パラグラフライティング 統計入門・分析入門)

・プラクティカルイングリッシュ

・情報科学と社会

・英語プレゼンスキルアップ講座

・国内外の連携校

(サイエンスフェア・交流会)



開拓する
人へ

発見する
人へ

貢献する
人へ